

2020年度ジュニアドクター育成塾プレ教育ステージ  
新型コロナウイルス感染予防策に関する参加同意書

プレ教育ステージを行う際は、以下の感染予防策を実施し、感染拡大に最大限留意してセミナーを実施しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。ご同意いただけましたら、以下の該当欄にご署名いただき、本同意書を初回参加時にご持参いただきますようお願いいたします。(参加当日、お子様にお預けいただければと思います。)

- 受講者、教員、ティーチングアシスタント (TA) はセミナー実施日の出発前に、発熱(※)、倦怠感、咳、息苦しさ、のどの痛み、頭痛、嗅覚・味覚異常の症状がないか確認する。上記症状のどれかひとつでも該当する場合は、以下の問い合わせ先へメール等により連絡し、その日のセミナーには参加しない。※発熱とは 37.5 度以上、または平熱より 1 度以上高い場合とします。
- セミナー当日の受付時に、受講者の体調不良の有無を確認する声かけを行うとともに、非接触型体温計で体温を計測し、健康状況の確認を行う。
- 厚生労働省から公表されている「新しい生活様式」では、人との間隔はできるだけ 2メートル (最低 1メートル) 空けることを推奨している。施設等の制約やグループ活動により 1メートルの距離を確保できない場合は、できるだけ距離をとり、換気を十分に行うことや、マスクやフェイスシールド (以下、マスク等) を着用することなどを併せて行うことにより、「3つの密」を避けるよう努める。
- セミナー時はマスク等を着用し、咳エチケットを徹底する。ただし、気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスク等を外す。その際、換気、教員や TA、受講者との間に十分な距離を保つなどの配慮を行う。
- 総合博物館でのセミナーは受講者 20 人を 1 グループとし、複数のグループが交わることはないようセミナーを実施するとともに、屋外では傘を活用して、人との間隔を 1 m 以上確保する。
- セミナーの休憩時間 (20 分程度) やトイレ後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、帰宅時など様々な機会において、こまめな手洗いを徹底する。なお、手指用の消毒液は流水での手洗いができない際に、補助的に用いるものであるため、基本的には流水と石けんでの手洗いをを行う。
- セミナーを実施する教室等の換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに 2 方向の窓を同時に開けて行う。エアコン使用時においても換気を行い、密閉空間にしない。

■以上の内容を確認し、同意の上、参加します。

令和 2 年 月 日

保護者 氏名 \_\_\_\_\_ 印